



今年の企画展として「郷愁の街とひと」 風間完、をとりあげました。誰もが共感できるその世界は、色々な小説や雑誌のさし絵などで皆様の目にふれることがあると思います。

彼はさし絵だけでなく、画友である脇田和や猪熊弦一郎などと新制作協会展に毎年風景画など出品していました。その美しい風景画は彼の好きなパリや京都であり、写実の絵ながら俗っぽくなく、キリッとした、洒落た、そして粋なところが魅力なのである。気軽に楽しみながら御覧ください。

ルヴァン美術館 館長 西村 八知

企画展 「風間 完 遺作回顧展」 — 郷愁の街とひと —



風間完の40年以上に渡る画業を回顧する展示は彼の生前、没後を通じて初めての事です。2003年、84歳で亡くなった風間完(1919~2003)は1958年から2002年迄、ほとんど休む事なく、新聞の連載小説のさし絵を描いていました。又、多数の小説のさし絵や単行本、文庫本の装丁、「銀座百点」「婦人画報」の表紙絵などで情感に溢れ、機知に富み、しかも清楚な画風により、多くの人々に愛された画家でした。1944年の第8回制作協会展に入選して以来、亡くなる迄、ほぼ欠かす事なくそこを発表の場として本格的な画家であり、さし絵も一種の版画と考え、制作にも少なからぬ情熱を注いだ版画家でもありました。この展覧会は新制作協会展に出品し続けた大型紙作品、多数の版画作品を精選し、「人気さし絵画家」に留まらないその画業の全貌を紹介します。風間完の作品は風景であれ、女性像であれ、江戸っ子気質の無駄の無い洒落た切れ味の良さが身上で、淋し気な人気のない風景も、美しい少女像も単なるセンチメンタリズムに墮する事なく、誰もが共感できる郷愁の中にたたくむ事を許されたのだと思います。「郷愁の街と人」風間完の独特の懐かしさに溢れた空気が会場を包み込み、皆様を魅了する事と思います。



1989年 風景



1982年 橋



1984年 教会の見える風景



銀座百点

2 1976 NO.255



11 1976 NO.264



同時開催「西村伊作」「文化学院の教育に携わった芸術家たち」



1916年 北山の山と雲 西村伊作



1913年 N氏の一家 石井柏亭

入館料 : 一般800円 大・高600円 中・小400円
団体割引、身障者割引有り

ミュージアムショップ : Le Vent

カフェテラス : Cafe Le Vent <New Open!>

サマーコンサート : 7月21日(土) 近藤和花ピアノコンサート(オープニングイベント) 16:00開演
8月 3日(金) メソソプラノ・林千恵子 ピアノ・古曳真則
8月10日(金) 近藤和花ピアノコンサート 一高原に響くピアノ・絵画に囲まれて一
8月11日(土) サバトス/ボサノヴァコンサート 3,000円
8月25日(土) 高広幸子フルートコンサート IN 軽井沢 3,000円
※8月3日以降の4公演は 18:00開場 18:30開演

●JR 長野新幹線「軽井沢駅」下車 又は、乗継ぎ しののめの鉄道「中軽井沢駅」下車で3km ※夏期は両駅より路線バス運行

●上信越自動車道「碓氷・軽井沢IC」より12km
軽井沢バイパス18号「鳥井原」
交差点(歩道橋)より杉瓜方面へ
1.5km

●駐車場 20台収容

このチラシ持参の方は4名様まで割引致します。

